

個別指導の改善など求め交渉 府が要望伝え厚生局の回答報告を約束

大阪府交渉

新規個別指導での実際の持参物を示しながら改善を求める伊津理事長 12月18日、大阪府庁



「犯罪捜査の一環のようだが」「なぜ患者リストは前日ファックスなのか」。指導・監査事務が10月から近畿厚生局に移管され、新規個別指導時の持参物の大幅増加や「患者名簿一覽表」の前日ファックスなど強化方針が鮮明になる中、協会は12月18日、2008年大阪府交渉を府庁で実施した。伊津准弘理事長ら協会役員9人と事務局12人が参加。指導大綱に基づいた懇切丁寧な指導の実現や、4医療費助成や口腔保健事業の拡充などを求めた。交渉に先立ち、府議に同席を呼びかけ、黒田まさ子議員(共産)が応じた。

審査指導の民主化

理不尽な持参物通知

診療妨害・人権問題

近畿厚生局によって新規指導が強化されている問題で、協会は持参物の一覽を作成し、府側に提示した。台車一台分にもなる資料の山を見せながら「9月まではエコバッグ一袋分だった持参物が、近畿厚生局に指導・監査事務が移管された10月からいきなり台車一台分が増えた。患者リストも前日にファックスによる

れば患者名簿をもっと早く通知すべきだ」と反論、府は返答に窮していた。また、協会の「現在の指導は、医療費抑制を目的としているのではない」との問いに、府当局は「あくまで請求を適正にしよう」とした。しかし協会から「では、なぜ高点数を選定理由にする」「実際の指導は、被指導者を呼び出してから粗を捜すように実施されている。だから先

4医療費助成制度

乳幼児は全国最低 ただちに拡充せよ

4医療費助成の問題では、1割負担導入、所得制限強化などの改善撤回を求めて交渉した。協会が1割負担の導入を止めるよう求めたのに対し、府当局は「1割負担の導入には償還件数が大幅に増えるなどの課題がある」として、事実上、現時点での1割負担導入は困難であるという見解を示した。

さらに協会が、全国の乳幼児医療費助成制度の外来の対象年齢のグラフ(図)を見せながら「特に乳幼児医療費助成の(外来の)対象年齢は全国でも最低。府民の命を守るという立場で検討していただきたい」「子どもが笑う大阪をつくるなら拡充が必要」と訴えたが、府当局は「厳しい財政の中で拡充するのは困難だ」と回答した。

これに対し、協会が「この間、福祉を削減してきた。府が何をしても追いつかない」と追及した。厚労省の調査(08年10月)によると府下の無保

ほびに指摘したような大量の持参物が必要になる」と指導の問題点を指摘すると、府当局は回答不能に陥り「要望の趣旨は近畿厚生局に伝える」となどと弁解した。協会は「伝えるだけでは駄目だ。これまでの要望も含め、伝えた結果をきちんと報告してもらおう」と近畿厚生局からの回答を協会に報告することを約束させた。

無保険の子ども

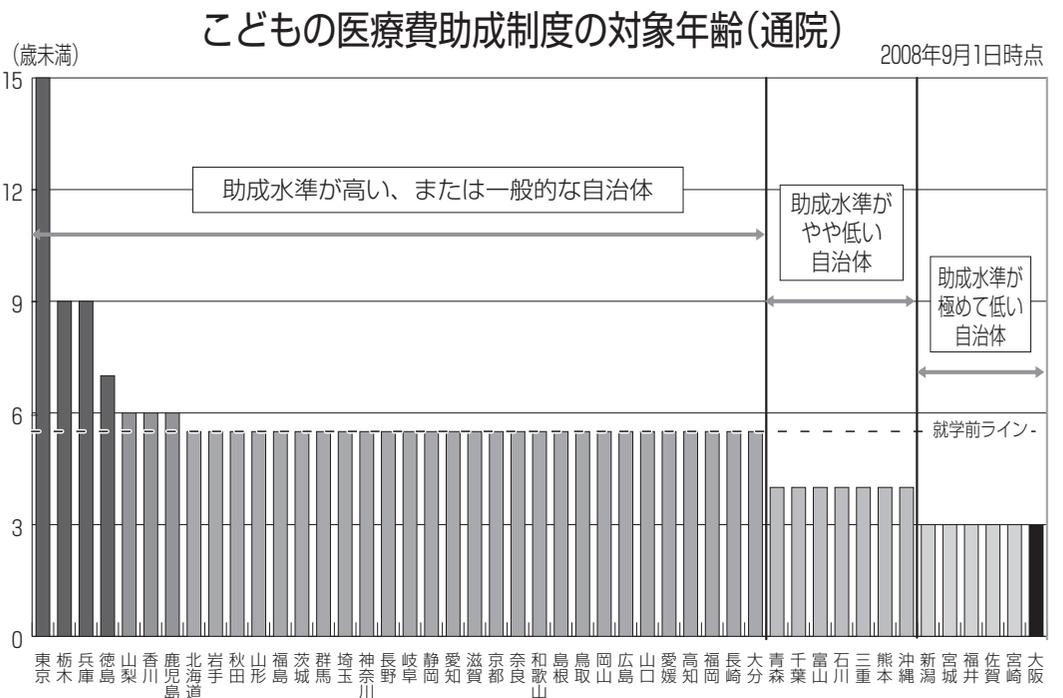
府は何もしてない 一刻も早く解消を

協会が2年前から府交渉で「乳幼児医療証はあつたのに本証がないのはおかしい」と追及してきた。いわゆる子どもの無保険問題は、いまや社会問題へと発展したが、その間、府は何もしてこなかった。協会が、国会で審議中だった15歳以下の子どもを救済する法案(12月19日可決成立)を示しながら

「大阪府はこれまで何も改善してこなかった実態を把握し、一刻も早く資格書の発行を停止するよう市町村に指導せよ」と訴えた。しかし府当局は「国会の動きを注視しながら、適正に発行されるよう申し上げていく」と述べるに留まった。このほか、口腔保健事業予算の増額や、歯科訪問診療車に対する駐車禁止除外標準の発行などを求めたが、府当局は明確な態度を示さなかった。最後に同席した黒田府

てきた。橋下知事が乳幼児医療費助成制度の対象年齢を就学前まで引き上げること示唆する回答を

したが、当局が「拡充は困難」と回答し始めるなど、府の立場を大きく後退させている。



※グラフには今後引き上げが決まっているものも反映 厚労省資料より作成

大相撲三月場所

2009年3月15日~29日/大阪府立体育会館

| | | |
|----------------|---------|--------------------------------|
| ①溜まり(平日のみ) | 32,000円 | 切符代14,300円、 御飲食・お土産代17,700円 |
| ②マスA席(全日程) | 28,000円 | 切符代11,300円、 御飲食・お土産代16,700円 |
| ③マスB席(3/16~19) | 16,800円 | 切符代10,300円、 御飲食・お土産代6,500円 |
| ④マスB席(3/23~27) | 19,800円 | 切符代10,300円、 御飲食・お土産代9,500円 |
| ⑤マスB席(土日祝) | 21,800円 | 切符代10,300円、 御飲食・お土産代11,500円 |
| ⑥イスSS席(全日程) | 19,000円 | 切符代9,500円、 御飲食・お土産代9,500円 |

お申し込みは、1月5日より

※マス席2人・4人様、イスSS席1名様単位の受付となります。マス席2人様の場合は、相席となります。

※料金は、切符代・ご飲食・お土産を含むお一人様の金額です。

大相撲案内所 保険医協会係
☎06-6647-6301
※保険医新聞を見た旨お申し出下さい。
受付時間▷月~金の午前10時~午後5時

1. 全席禁煙
2. ご飲食・お土産内容: 上幕の内弁当(三段重)、お茶、お酒(イスSS席は、缶ビールと缶ジュース)、パンフレット、菓子セット、甘栗、みたらし団子、お持ち帰り用相撲土産(溜まり、マスAは3点、マスB席、イスSS席は2点)。
※お問合せは保険医協会/文化部まで。

保険医協会・文化部公認企画